

# まじのこ

## ～倉敷市真備町における避難場所となるスポーツ施設の提案～



### 01. Background

岡山県倉敷市真備町は、西日本豪雨により、大きな被害を受けた。

- ・2018年7月6日夜から翌朝にかけて発生
- ・堤防8カ所が連鎖的に決壊  
↳バックウォーター現象が原因
- ・町の1/4(1200ha)が浸水



図-1 真備町周辺浸水推定段彩図(出典:国土地理院)

#### 真備町の緊急時の指定緊急避難場所

01. 真備総合公園(体育館)
02. 倉敷市立岡田小学校
03. 吉備路クリーンセンター焼却場
04. 倉敷市立蘭小学校
05. 倉敷市立二万小学校
06. まきび荘(高齢者交流施設)

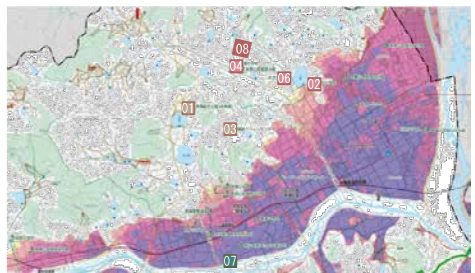


図-2 真備町ハザードマップ(出典:倉敷市)

#### 避難場所として推奨されていない場所

- 01. 体育館
  - 02. 焼却場
  - 03. 二万小学校
- 土砂災害警戒区域  
大きな川を渡るから危険

#### 避難可能な場所

- 02. 岡田小学
- 04. 蘭小学校
- 06. まきび荘

合計収容人数  
約750人

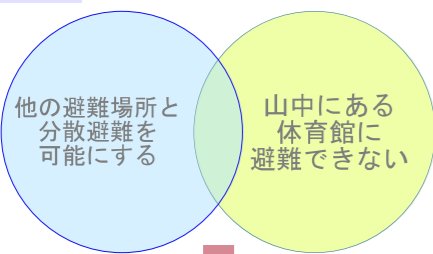
しかし...  
当時避難指示が出た地域にいた人は  
約9000人

収容人数が足りていないという現状から、  
倉敷市は、07. 防災復興公園(仮称)を建設中  
車両400台程度が収容可能

まだ、収容場所が足りない

新たな避難場所が必要である。

### 02. Aim



安全に避難できる新たな体育館を提案

### 03. Area

- ・対象地域  
被害が大きいのにもかかわらず、避難場所までが遠い  
川辺地区・有井地区

川辺地区	1425世帯	4072人
有井地区	826世帯	2432人
計	2251世帯	6504人

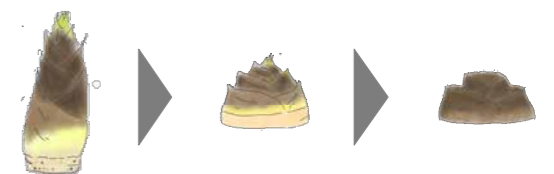


図-3 図-2拡大図

### 04. Diagram

#### Bamboo Shoots

真備町は「タケノコ」と「ぶどう」が特産品である。  
このことから、建物全体をタケノコのモチーフとした。  
また、真備町中に生えている竹を用いて、  
ルーバーのように立て掛けることで、風通しが良くなるように考えた。



#### ・08. 敷地選定理由

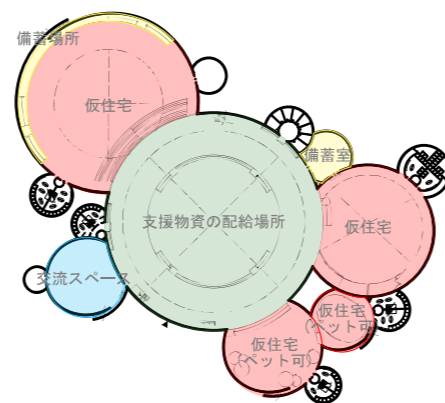
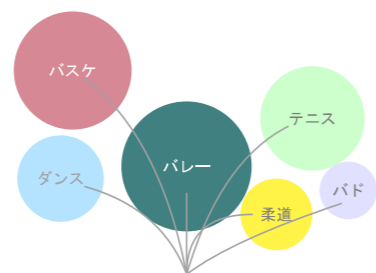
- 1, ハザードマップで浸水被害、土砂災害警戒区域に該当していない。
- 2, 対象地域からのアクセスが良い。
- 3, 他の避難場所が近いので、知人と合流を図りやすい。

屋上にはぶどう棚を設けて、地域の特産品を地域の人で見守り、楽しみながら栽培、収穫できるように設計した。

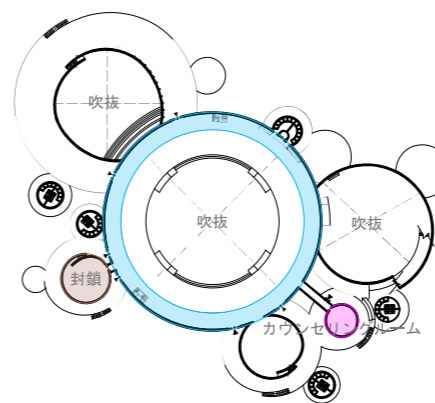
このように特産品である、タケノコやぶどうを使うことで地域のことを知る機会になり、住んでいる町を身近に感じることができるようにしている。



建物の正面入口から入ると、正面にバレーボール、右手にテニス、左手にバスケットボールコートとしており、自分の行きたい場所が一目で分かるように計画した。このことから、緊急時の混雑も緩和でき、混乱することなくスムーズに移動できるようにする。

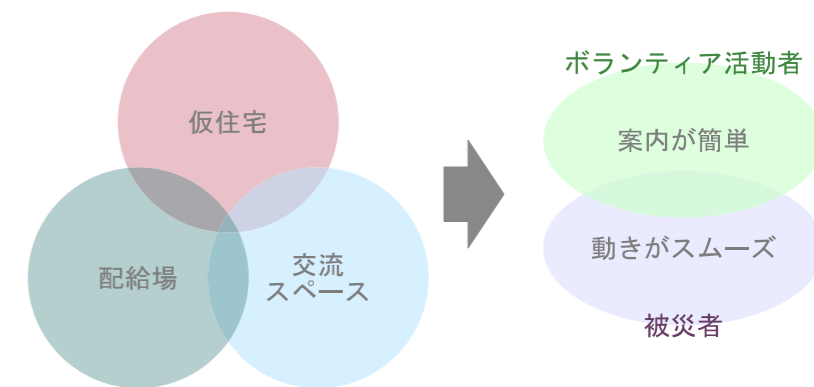


緊急時1階平面図 (S=1/1000)



緊急時2階平面図 (S=1/1000)

いくつかの広い空間を計画することで、仮住宅、配給場所、炊き出し、地域の人とコミュニケーションが取れる場所のように、それぞれの場所に役割を与えることができ、ボランティア活動者の案内や被災者の動きがスムーズになるようにする。



06. Plans of the Rooms

1. Volleyball Court



バレーボールコートは中心に設けている。観戦場所は二つあり、近くで迫力のある観戦をしたい人はコートとホールの境に段があるので、腰を掛けて観戦することができる。

2. Basketball Court



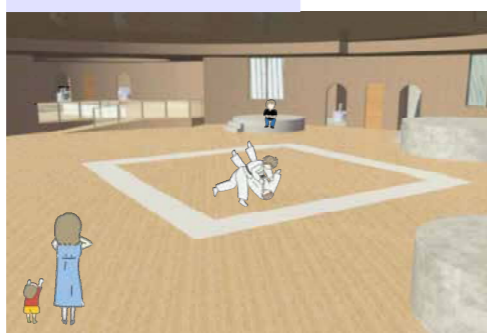
西側にある、この空間はバレーボール部分から2m下がっており、階段部分に腰を掛けて観戦するようにする。

3. Studio



スタジオは西側に設けている。日常的にはダンスやヨガのような、道具を使わない運動をする。

4. Judo Arena



柔道場は南側に設けた。円柱の観戦場所が三カ所あり、様々な角度から観戦することができる。

5. Badminton Court



柔道場の東側にバドミントンコート进行を設けている。緊急時には柔道場と同じく、ペットを飼っている人が利用できる仮住宅とする。

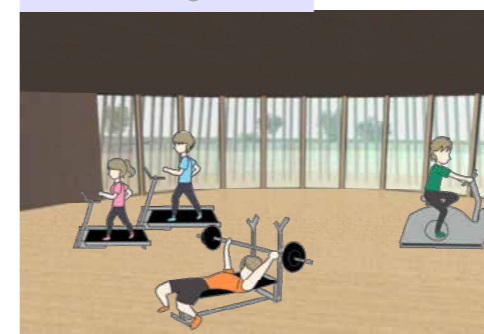
6. Tennis Court



壁際が螺旋状の段差になっている。そこに立って観戦するようになっており、自分の好きな角度、高さで観戦することができるようにしている。



7. Training Room



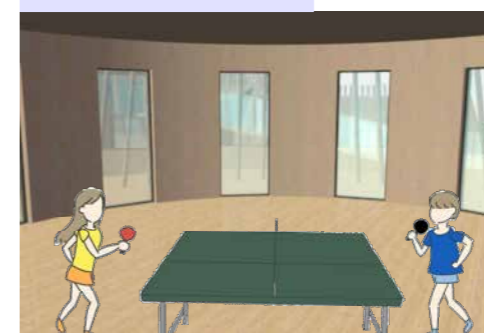
トレーニングルームはスタジオの二階部分にある。器具があり危険であることから、緊急時のような混雑時には封鎖するようにし、安全の確保ができるようにする。

8. Kid's Room



二階にキッズルームを設けることで、子どもにもボールが当たり、怪我をすることがなく、安心して遊ぶことができるようにした。

9. Table Tennis Hall



災害時には、心のケアを必要とする人のためのカウンセリングをするような空間とするため、唯一廊下で繋がっており、静かな空間で心を落ち着かせることができるように工夫した。

10. Study Room



敷地近くに小学校があることから、三階に学習室を計画した。他のコートから離れた最も高い場所に設けることで、他の空間よりも静かで集中力を高めることができるように考えた。

Sectional View

細い廊下があると、混雑時には混雑を招くと考えたため、廊下は設けず、大空間同士を繋げ、空間と空間の間に段差を作ることで、分割している。また、空間を繋げることで、他の空間の混雑状況が中心部分から見え、案内がしやすく、混雑も分散することができるようにした。

